スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【茨城県茨城町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	茨城県茨城町教育委員会
担当課名	学校教育課
電話番号	029-240-7138

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	30,820人	部活動数	25部活
公立中学校数	2校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	722人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

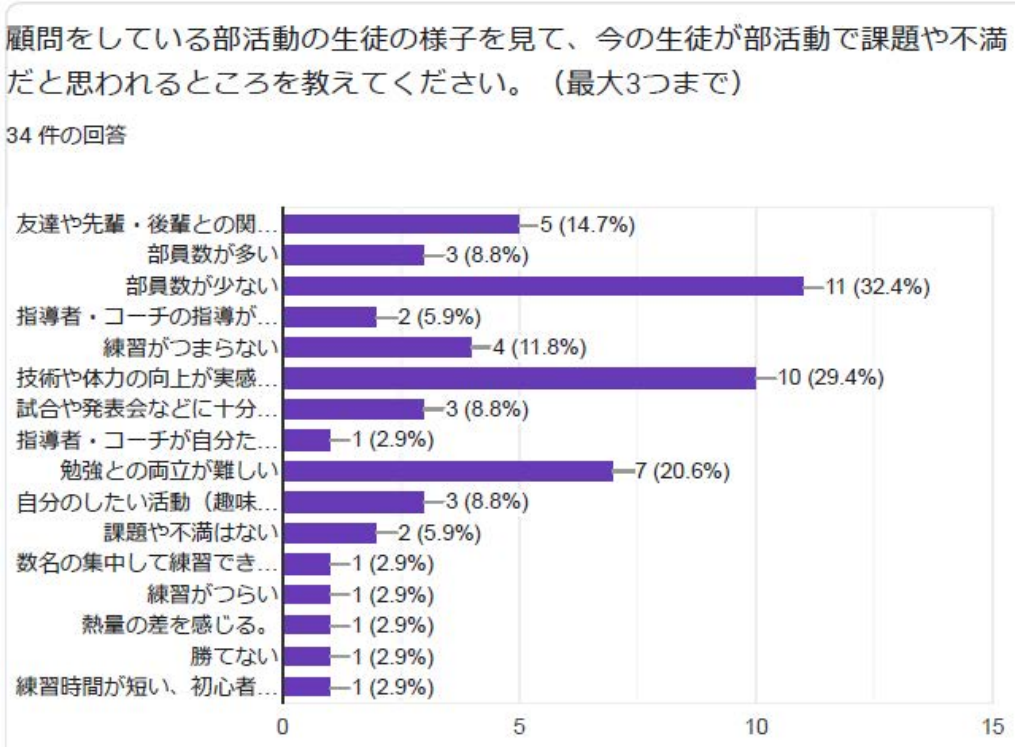
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

部活動は、多様な生徒が活躍できる場であり、活動を通して達成感や充実感を味わったり、友情を育んだりしながら、人間形成や生きる力の育成の機会となっている。しかし、少子化による部活動数や部員、指導する教職員の減少により、生徒がやりたい部活動がなかったり、専門的な指導を受けられなかったりする。

大きな課題の一つ目は、子どもを指導していただく人材を、どのように発掘し、確保していくかということだ。部活動は競技力の向上はもちろんだが、人間形成など教育的ねらいを大事にしていることから、子どもの成長を支援し、指導できる人材が求められている。

二つ目は、部活動を学校主体から地域に移行するための、持続可能な活動環境の整備である。具体的には、運営団体となる地域クラブの設立、学校と関係団体との連携、指導者の人件費等の負担の在り方などが上げられる。

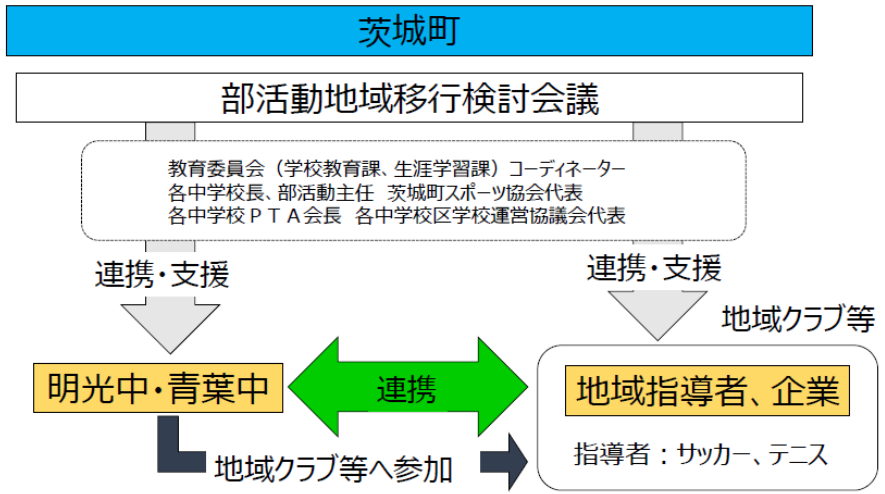
本町では、地域移行に向けての指導体制が整っているサッカー部を、まず、モデルケースとして進めていくことにした。



2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（学校教育課）
- ・部活動地域移行検討会議事務局
- ・中学校部活動顧問と地域クラブの指導者との連携
- ・保護者や地域住民への周知、協力依頼
  （生涯学習課）
- ・スポーツ協会との連携
- ・茨城町総合運動公園との連携
- ・町部活動指導者研修会開催

● **首長部局**
- ・地域との交流を図るまちづくりの推進
- ・文化的・スポーツ施設の活用

年間の事業スケジュール

3．事業スケジュール

時期	計画事項	備考
4月	第１回検討会議の開催（方針の確認、サッカー部移行の準備）	
	拠点校における実施準備	
	保護者説明会	
5月	第２回検討会議の開催（サッカー部移行の準備）	
	拠点校における実施準備	
6月	地域指導者向け研修会の実施	
	拠点校における実施準備（サッカー部保護者説明会）	
7月	第３回検討会議の開催（進捗状況の報告等）	
	サッカー部の地域移行	
9月	第４回検討会議の開催（サッカー部の地域移行後の現状について、今後地域移行できる部活動のピックアッ	
10月	部活動保護者研修会（地域移行の見通しについて）	
	生徒との意見交換会	
11月	第５回検討会議の開催（Ｒ６度　地域移行できる部活動の準備）	
12月	地域指導者向け研修会（Ｒ６度　地域移行に向けて）	
1月	拠点校・保護者等へのアンケート調査実施	
2月	第６回検討会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）	
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成	

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	２校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	サッカー、テニス
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	６部活		

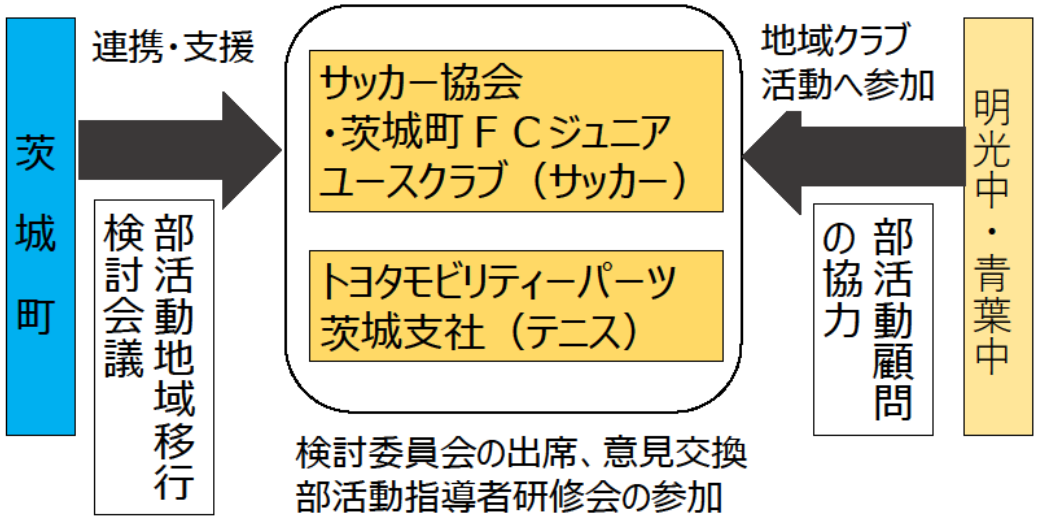
主な取組例

▼活動概要

拠点校名	茨城町立明光中学校　茨城町立青葉中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	６部活
地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、テニス
運営主体名	茨城町ＦＣジュニアユースクラブ トヨタモビリティーパーツ（株）茨城支社
運営類型	地域スポーツ団体運営型（民間スポーツ事業者運営型）
１か月あたりの平均的な活動回数	サッカー：月８回程度 テニス：月１回程度
指導者の主な属性	少年団の指導者　競技経験者
活動場所	茨城町総合運動公園
主な移動手段	送迎　自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：１２，０００円 テニス：　０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 テニス：企業負担 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

（運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

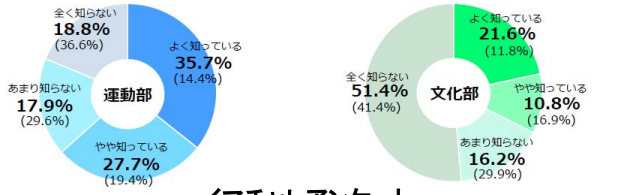
コーディネーターを配置し、関係団体等との連絡調整・指導助言を行う。

取組の成果

本年度は、サッカーを地域移行することができた。コーディネーターを中心とした、地域クラブや学校、保護者等との連絡調整を重ねることでスムーズに移行できた。

また、町内中学１～３年生　191名のアンケートでは、「スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和７年度までに推進している」ことを「よく知っている」「知っている」と回答した生徒が、運動部では63.4%（全国33.8%）、文化部では32.4%　（全国　28.7%）であった。コーディネーターの周知活動等により、生徒への理解が進んだと考える。

■Q：スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？



イマチャレアンケート

（　）は全国データ

特に工夫した事項

地域移行後の活動を見守り、地域クラブの指導者や部活動顧問とコミュニケーションをとり、連携体制を構築した。また、それぞれの立場の意見を傾聴し、生涯学習課や町総合運動公園事務局と調整を図り、活動しやすい体制づくりに努めた。

さらに、今後地域移行できそうな競技の地域の指導者と複数回意見交換を継続しているが、持続可能な指導体制を構築するためにも、数年先を見通し、一歩一歩進めていく必要があると理解を求めている。

茨城町部活動地域移行コーディネーター　活動状況報告

6月	3（土）8：30～	企業によるテニス教室見学 茨城町立明光中学校テニスコート
	27（火）10：00～	第２回部活動地域移行検討会議打合せ 茨城町駒場庁舎
	29（木）18：30～	第２回部活動地域移行検討会議参加 茨城町駒場庁舎
	30（金）19：00～	サッカー地域クラブと部活動顧問との打合せ 茨城町駒場庁舎
7月	7（金）19：00～	明光中・青葉中サッカー部合同保護者説明会 茨城町駒場庁舎
	16（日）15：00～	サッカー部地域移行開始見学 茨城町駒場庁舎
8月	1（火）9：00～	事務局打合せ及び企業との打合せ 茨城町駒場庁舎
9月	4（月）10：30～	町部活動地域移行アドバイザーとの情報交換等 茨城町駒場庁舎
	7（木）14：00～	第２回企業によるテニス教室打合せ 茨城町駒場庁舎
10月	20（金）18：30～	第３回部活動地域移行検討会議参加 茨城町駒場庁舎
11月	8（水）10：00～	地域の指導者との意見交換（バレーボール） 茨城町駒場庁舎
	9（木）15：00～	地域の指導者との意見交換（剣道） 茨城町駒場庁舎
	16（木）14：00～	地域の指導者との意見交換（卓球） 茨城町駒場庁舎
	18（土）8：30～ 14：00～	部活動地域移行の活動の見学 第３回企業によるテニス教室見学 茨城町総合運動公園テニスコート サッカーの地域移行見学 茨城町総合運動公園多目的広場
12月	16（土）8：30～	第３回企業によるテニス教室見学 茨城町総合運動公園テニスコート

今後の課題と対応方針

今後地域移行できそうな競技の地域の指導者の意見交換を継続して行い、複数年を見据え、持続可能な指導体制を構築するための助言や支援を行っていく。持続可能な組織体制を構築するため、数年先の地域移行を目指し、保護者や地域住民の理解を得ながら、段階的に進めていきたい。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

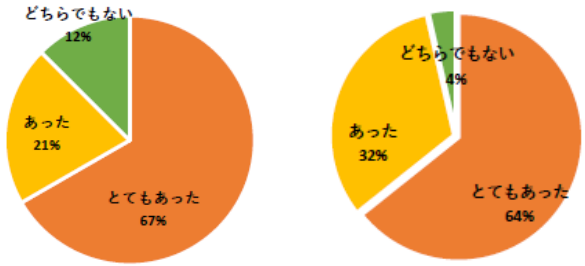
取組事項

指導者の派遣などを、企業等と連携する。

取組の成果

トヨタモビリティーパーツ茨城支社主催のテニス教室を４回開催できた。参加した中学生52人を対象としたアンケートの結果、回答者の92.3%が、テニス教室に参加して学びが「とてもあった」「あった」と回答した。具体的な学びには、「フォアやバックのフォームを学べました。」「バックハンドの時、ドライブ回転をかけて打てるようになった」「腰を落として打つとネット近くにボールが行くようになった。」「腰を回すといいことが分かった。」など、技術的なことが多く挙がった。競技経験者の指導により、生徒は技術的な向上の実感を得ることができたと考える。

今回のテニス教室を通して、何か学びはありましたか？



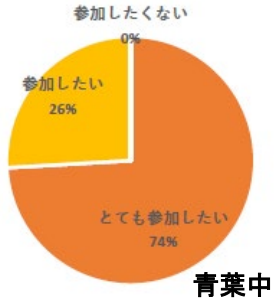
特に工夫した事項

第１回の開催に向けて、「参加生徒一人一人が意欲的に取り組めるようにどうすればよいか」を地域移行検討会議事務局と企業が、意見交換を重ねた。そこで、共通理解を図ったのは、目指す生徒の姿を明確にし、指導者と参加生徒が共有することであった。さらにテニス教室を充実させるため、第１回の反省を生かし、以下主に３点の改善を行った。

①町内２中学校合同開催　②各中学校テニスコートから町運動公園テニスコートに変更　③当日欠席などの連絡体制構築



テニス教室にまた参加したいですか？



今後の課題と対応方針

指導者は企業の社員で勤務として、指導に当たっていただいた。次年度は毎月１回の定期開催を目指している。生徒や保護者には、年間を通しての参加を呼びかけ、３年生は部活動引退後も参加できるようにしたい。最後はトヨタモビリティーカップを開催するが、生徒主体の大会の運営を考えている。さらに、企業側のメリットを明確にし、持続的に活動ができるよう企業側への協力をしていきたい。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

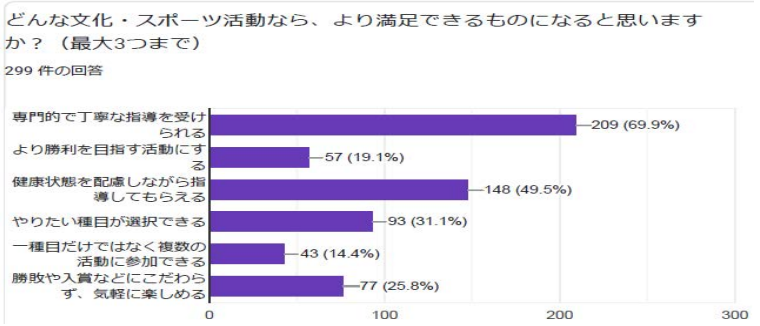
▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

学校における半分以上の部活動の地域移行を推進する。

取組の成果

町内６部活（サッカー部２、男女テニス部４　合計６）の地域移行を行った。サッカー部は、７月より、土日、休日の部活動を完全に移行した。練習試合や大会の引率や運営も地域クラブに行っていただいている。テニス部は、企業主催のテニス教室を町内2中学校男女合同で実施した。

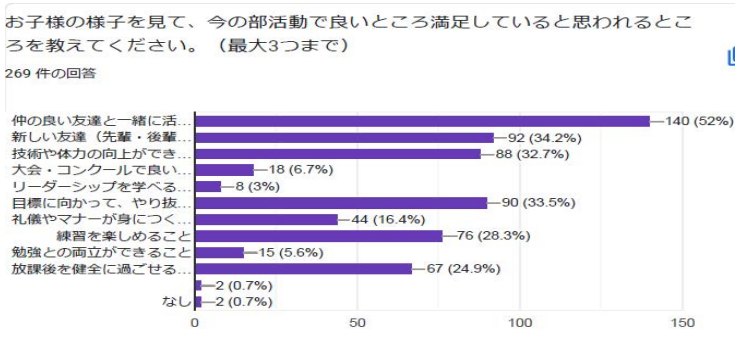


特に工夫した事項

指導者と部活動顧問の連携を大事にした。

サッカーでは、事前の保護者会にも地域クラブの指導者と共に、部活動顧問も参加した。地域移行後は、生徒の活動の様子を地域の指導者と部活動顧問が、お互いに活動している様子を見学した。

テニスでは、「何のためにテニス教室を開くのか？」「どのような子どもを育てたいのか？」と、同じベクトルで活動できるように意見を交換を重ねた。



今後の課題と対応方針

持続的に活動できる体制を、町が支援していくことが必要である。サッカーでは、月1,000円の保護者負担では、遠征のためのバス代がまかなえない。そこで、地域移行したクラブへ町や学校が支援をどのようにしていくかが課題である。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

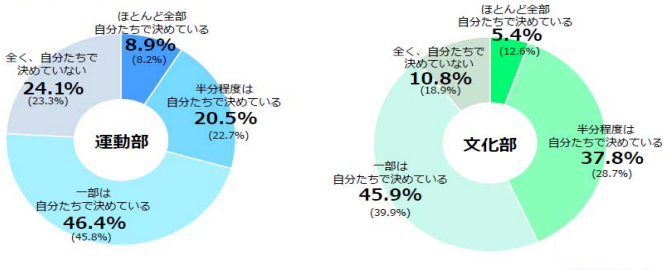
取組事項

生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保に努める。

取組の成果

本年６月、部活動指導者研修会を町主催で実施し、地域の指導者と部活動顧問39名が参加し、実施した。研修会では、生徒の主体性を育てる指導を日頃から行うことを確認した。町内中学生のアンケートでは、「練習の時間や内容、試合のメンバーなど、部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか？」に運動部の生徒で肯定的に回答した生徒は86.6%であった。全国は89.6%であり、さらに主体性を伸ばす必要がある。

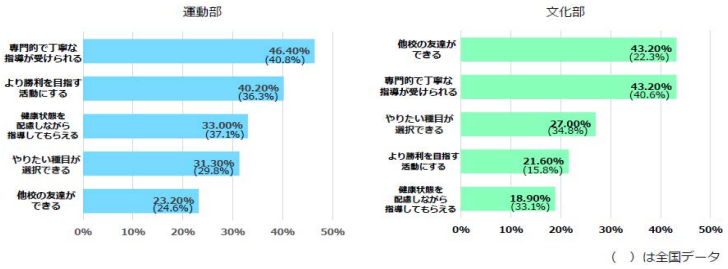
■ Q：現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で**決めている**ことはありますか？



特に工夫した事項

本町中学生のアンケートから、運動部の生徒は、「専門的で丁寧な指導を受けられる」ことが、より満足した活動になると考える生徒が、46.4%いる。サッカーでは、地域クラブと平日の部活動の練習内容を顧問と地域の指導者の連携のもと明確にし、冬場の部活動はフィジカル強化、地域クラブはテクニカル強化と合理的な練習計画を作成した。また、テニス教室では、中級クラスと上級クラスを自分で選択した。また、日頃の練習に生かせるように、練習目標を明確に設定し、指導者と生徒が共有した。具体的には、テニス教室後、生徒にアンケートを行い、次回の練習に生かした。

■ Q：どんな文化スポーツ活動なら、より満足できるものになると思いますか？（３つまで回答可）



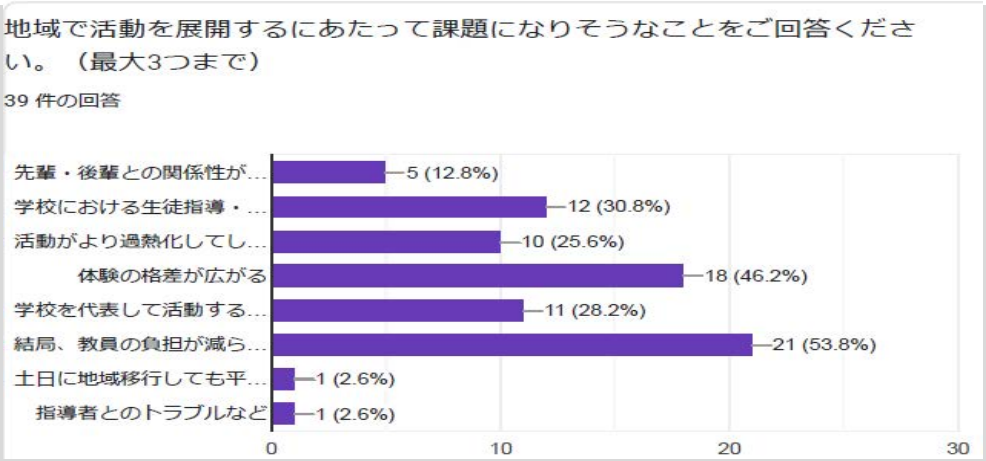
今後の課題と対応方針

生徒の主体性を伸ばす活動を平日の部活動にも積極的に取り入れ、生徒主体の活動ができるよう、指導体制を整える必要がある。そのため、地域クラブの指導者と部活動顧問が連携強化することや、平日練習の質を向上させるため指導者の資質向上研修会を開催することなどを、町が主体的に関わる必要がある。

2．実証内容と成果

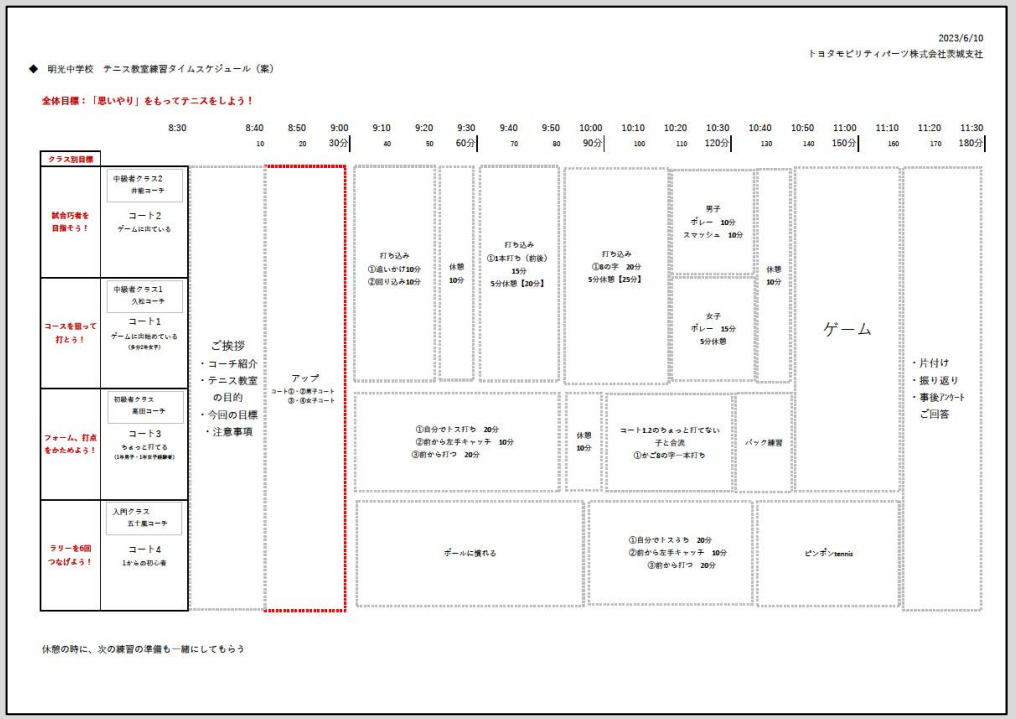
スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



町内部活動顧問へのアンケートの結果、地域移行後も、「教職員の負担が減らないのではないか」「地域クラブ指導者への適切な報酬が出せるのか」等の課題が明確になった。

【部活動顧問アンケート】



テニス教室では、「何のためにテニス教室を開くのか？」「どのような子どもを育てたいのか？」と、主催者と生徒、そして部活動顧問が同じベクトルをもてるように意見を交換を重ねた。そこで、中級クラスと上級クラスとクラス別とし、練習目標を明確に設定し、指導者と生徒が共有した。参加した生徒は、テニス教室にとても満足していた。

【テニス教室打合せシート】

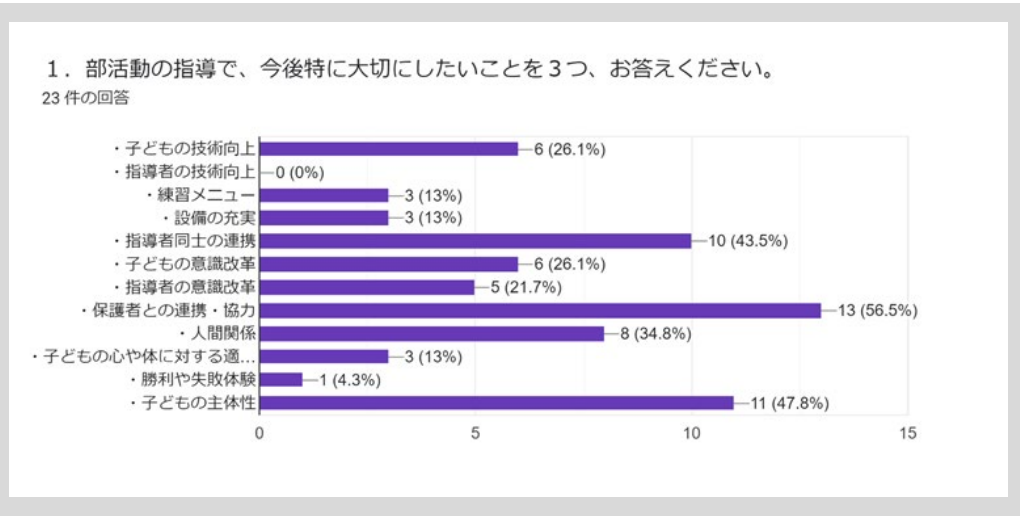
2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【部活動地域移行検討会】



【部活動指導者研修会後のアンケート】

サッカー部の地域移行が新聞社の取材を受けた。

※茨城新聞　2023年７月23日に掲載

【サッカー地域移行】



【テニス教室】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年　　令和６年

協議会設置、検討開始 → モデルケースとしてサッカーの地域移行方針決定 → 保護者や地域住民への周知 → 保護者説明会 地域クラブとの意見交換 → 地域クラブ活動の開始 → 地域クラブ活動の拡大

●部活動地域移行検討会議
町内中学校
学校運営協議会
●部活動地域移行の保護者や地域住民への周知と理解促進
町部活動活動方針の改定
●部活動地域移行の説明について
・学校運営協議会　・各中学校保護者説明会
・町内小学６年生保護者会　・町内小学６年生対象説明会
●町部活動活動方針の改定について
・各中学校殿意見交換
・部活動地域移行検討会議での検討
・町部活動活動方針の改定
→　学校部活動活動方針の見直し
●実施内容、工夫した点　等
・丁寧な説明を継続したことで、概ね理解を得ることができた。保護者から、「やってみなければ分からないが、子どものためになれば・・」との意見が多かった。

●部活動地域移行検討会
茨城町ＦＣジュニアユースクラブ
町内サッカー部顧問
町内サッカー部保護者
●サッカーのスムーズな地域移行に向けて
4月１５日　ＰＴＡ総会
5月１日　部活動地域移行検討会議
5月2,4日　部活動保護者説明会
6月8日　指導者研修会
7月7日　サッカー部合同保護者会
6月29日　部活動地域移行検討会議
6月３０日　地域クラブとの打合せ
7月16日　地域移行開始
●実施内容、工夫した点　等
・地域移行後も練習内容や生徒の活動の見守りなどの地域クラブと部活動顧問との連携を大切にすることを共通理解した。
・地域移行後の部活動顧問の姿が明確にイメージすることができなかった。

●部活動地域移行検討会議、今後地域移行できそうな競技の地域の指導者、茨城町ＦＣジュニアユースクラブ
●今後地域移行できそうな部活動の地域の指導者と意見交換したが、競技ごとの課題があることが分かった。
●実施内容、工夫した点　等
・地域移行したサッカーについて、地域クラブと学校の連携を図り、持続的な体制づくりを強化する。
・今後の地域移行に向けて、部活動顧問や生徒の意識改革を行う。
・長期的なスパンでできるところから地域移行を段階的に進める。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

茨城町・茨城町教育委員会　部活動改革スケジュール（案）

